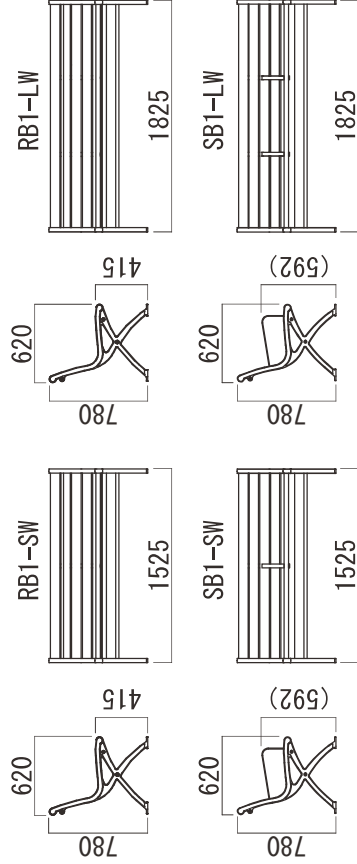


■安全のために必ず守って頂きたいこと

- この製品は、ベンチです。用途以外は使用しないでください。
- 製品の分解改造や部品を外したり、外れたままで使用しないで下さい。
- この製品は樹脂を使っていますので火気を近づけないで下さい。
ストーブのそば等、高温になる所での使用は避けてください。
火災などの原因になります。
- 製品に極度な衝撃を与えないで下さい。破損の原因になります。
- 歪みやガタツキが生じた場合は、ボルトを締めなおして下さい。
- この製品を他の場所へ移動する場合は、この説明書と共に貸し出し
よく読んでから使用するようにご指導下さい。

■商品構成

- 材 質：脚／アルミ鋳物
座板(表面被)／ASA(木粉入り)
座板(内部)／ABS(再生 40%)
補強金具／スチール
- カ ラ ー：座板／木調 脚・補強金具／グリーン(粉体焼付塗装)
- 1 台 重 量：RB1-SW／約 41. 5kg RB1-LW／約 51. 5kg
SB1-SW／約 42. 5kg SB1-LW／約 53. 5kg



乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。



環境づくりのパートナー
ミツシマ工業株式会社

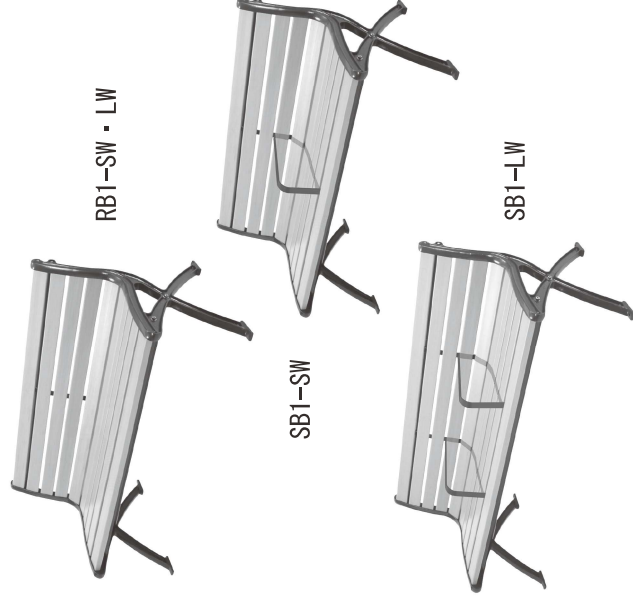
本部 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1丁目6番7号 TEL06-65534-1201 (代)
Webサイト <https://www.mitsushima21.co.jp/> QRコードよりスマートフォンで閲覧可能です。

2023. 09. 11



取扱説明書

リサイクルベンチ RB1-SW・LW
セパレートベンチ SB1-SW・LW

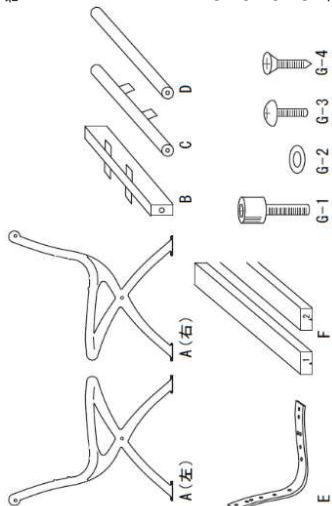


このたびは**ミツシマ**製品をお買い上げ頂きまして
ありがとうございます。本説明書には製品の使い方と
使用上の注意について重要な事項を記載しています。
ご使用になる前に本説明書をご一読いただき、正しく
お使いください。また、製品を永くご使用頂くため
この説明書は大切に保存してください。

■商品構成

必要工具：六角レンチ 8mm (M10ボルト用) ×2

プラスドライバー No. 2 (皿タッピングダネジ用), No. 3 (トラス小ネジ用)
(お客様でご用意ください)



部 品	部 品 名	RB1-SW	RB1-LW
A	フレーム (左右あり)	2個	2個
B	角パイプ	1個	1個
C	丸パイプ金具付き	1個	1個
D	丸パイプ	1個	1個
E	補強金具	1個	2個
F	座板 (記号入り)	10個	10個
G-1	六角穴付ボルト	6個 (1個)	6個 (1個)
G-2	スプリングワッシャー	6個 (1個)	6個 (1個)
G-3	トラス小ネジ	3個 (1個)	6個 (2個)
G-4	皿タッピングネジ	10個 (1個)	20個 (2個)

※ () 内の数字は同梱されている予備部品の数量です。

■設置時のお願い

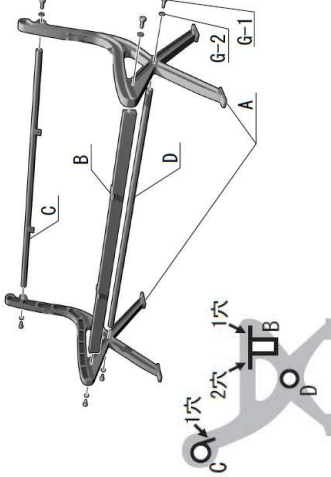
- 製品は出来るだけ水平を保って設置して下さい。水平を保たないとぐらつきや歪みが生じ、製品の変形や破損の原因になります。

■お手入れのしかた

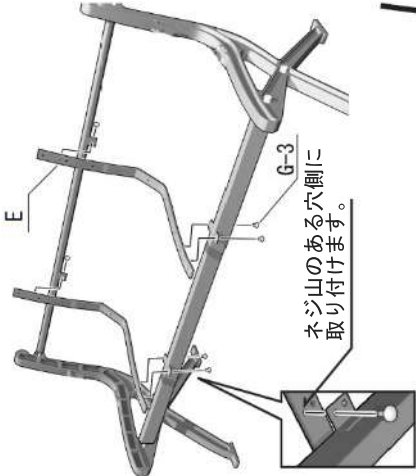
- 日常のお手入れは、柔らかい布で拭きして下さい。
- 樹脂部は、水に濡れたままにしておくことやアルコール及びシンナー系溶剤を使うと、変色する場合があります。
- 鋼製部は、水に濡れたままにしておくことやアルコール及びシンナー系溶剤を使うと、防錆能力が低下して、サビなどの原因になります。
- 汚れが著しい場合は、次の①～③の手順を守って汚れを落とすして下さい。
 - ①薄めた中性洗剤につけた布をかく絞って拭いて下さい。
 - ②水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭いて下さい。
 - ③乾いたら柔らかい布で水分が残らないように拭いて下さい。※汚れが落ちない場合は①～③の作業を繰り返しして下さい。
- 焦げ目や傷が付くと補修できない場合がありますので、取扱いに十分注意して下さい。
- 製品を移動するときは、必ず2名以上で持ち上げて行って下さい。
- 引きずって移動すると床に傷がつき、製品の破損の原因になります。
- 廃棄の場合は各自治体の指示に従って適切に処理して下さい。

■組立方法

- ①フレームの仮組み
 - フレームA (左右) にパイプB、C、Dを六角穴付きボルトG-1及びワッシャーG-2で仮止めします。



- ②補強金具の仮止め
 - 仮組みしたフレームに補強金具E (RB1-SWは1個) をトラス小ネジG-3で仮止めします。



※フレームAは左右それぞれ座板用の四角いくぼみのある面が内側になります。
※角パイプBは金具のある面が上で、二つの穴側がそれぞれ外方向にくるように、丸パイプCは金具のある面が正面下にくるようにそれぞれ仮組みします。
※後ほど座板Fを左右フレームAの間に差し込むため角パイプと左右フレームのスキマは十分空けた状態で仮組みしてください。

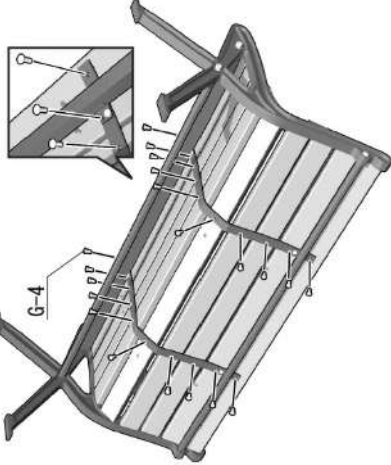
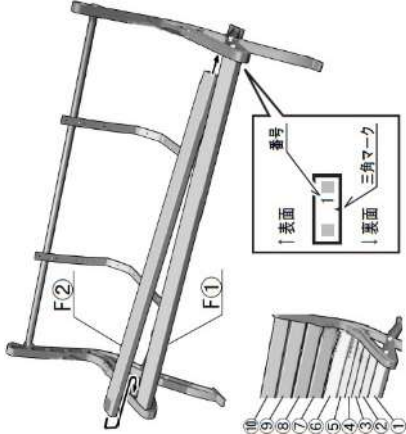
③座板の取り付け

- フレーム座板Fを手前から記号順に取り付けます。
- 取り付け終わったら、仮止め状態のボルト類を全て締め付けます。

補強金具は、先が下がっている方が正面にくるように取り付けます。

④座板の固定

- 最後に裏から座板Fを補強金具に皿タッピングネジG-4で固定して完成です。



※座板の断面に記号と三角マークがあります。
三角マークを下にして、記号順に手前から取り付けてください。
※座板は片方差し込んでから、もう片方をはめ込むと取り付け易くなります。

※締め忘れていたボルトやビス類が無いからよく確かめてからご使用ください。